

しゅういんかいさん そうせんきょ ぜつぼうてき とっしん えんめい さく あべせいけん だとう
 衆院解散・総選挙に絶望的に突進し 延命を策す安倍政権を打倒しよう
 かいけん せんそう そし はたら かたかいかく ふんさい
 改憲・戦争阻止、「働き方改革」粉碎を

あべせいけん ぜつぼうてき きき なか かいけん せんそう む しゅういんかいさん そうせんきょ か
 安倍政権は、絶望的危機の中で改憲・戦争に向かって衆院解散・総選挙の賭
 で がつみつ か きたちょうせん しゅぎ かいめ かくじっけん おこな
 けに出ようとしている。9月3日、北朝鮮スターリン主義は6回目の核実験を行
 った。米トランプ政権は「北朝鮮を全滅させる」と宣言した。米日帝の戦争策動
 はかつてなく深まっている。「朝鮮侵略戦争阻止！ 改憲阻止！」を掲げ、労
 どうしゃかいきゅう そうけつき あべ たお はじ まえ せんそう かくめい
 働者階級の総決起で安倍を倒し、始まる前に戦争をとめよう。10・1ロシア革命
 100年記念集會に総結集し、11・5労働者集會・改憲阻止1万人大行進を
 ねんきねんしゅうかい そうけつしゅう ろうどうしゃしゅうかい かいけん そし まんにんだいこうしん
 日韓国際共同行動としよう。ゼネストー革命の扉を開こう。

ほんしつ べいにちてい しんりやくせんそう
 本質は米日帝の侵略戦争

いまお じたい ほんしつ べいにちていこくしゅぎ ちょうせん ちゅうごく しんりやくせんそう
 今起こっている事態の本質は、米日帝国主義による朝鮮・中国への侵略戦争
 である。アメリカ帝国主義は第2次世界大戦後、朝鮮戦争（1950～53年）
 ちょうてん ちょうせんはんとく なんぼくぶんだん しはい きたちょうせん ちゅうごく たいせいてんぶく こっか せんりやく
 を頂点に朝鮮半島の南北分断支配と北朝鮮・中国の体制転覆を国家戦略と
 して今も堅持している。94年には実際に北朝鮮への核使用をもくろみ、核攻撃
 はつどうすんぜん ちょうせんしんりやくせんそう きき せつぱく にほんていこくしゅぎ ちょうせんはんとく
 の発動寸前まで朝鮮侵略戦争の危機を切迫させた。日本帝国主義は朝鮮半島
 あし ちゅうごく しんりやく たいへいようせんそう だい じたいせん きょうこう
 を足がかりとして中国に侵略し、アジア太平洋戦争（第2次大戦）を強行し
 はいせんご ちょうせんせんそう べいぐん しゅつげき へいたん きち ちょうせんとくじゅ
 た。敗戦後も朝鮮戦争で米軍の出撃・兵站（へいたん）基地になり、朝鮮特需
 ていこくしゅぎ さいけん ふだ いま だとうすんぜん きき た あべせいけん えん
 で帝国主義としての再建に踏み出した。今や打倒寸前の危機に立つ安倍政権は延
 めい かいけん ちょうせんしんりやくせんそう とっしん
 命をかけて改憲と朝鮮侵略戦争に突進している。

せかい ろうどうしゃかいきゅう ねん かくめい とつぱこう せかいかくめい けつき
 世界の労働者階級は、1917年ロシア革命を突破口に世界革命をめざし決起

してきた。日本・朝鮮・中国—東アジアにおいても、労働者・農民は民族・
 国境を越えて世界革命の勝利に向かって闘ってきた。30年代階級闘争と戦後
 革命は帝国主義を世界的に打倒する直前まで突き進んだ。

この世界革命に対する恐怖が帝国主義の行動を規定している。第2次大戦も
 朝鮮戦争も、そして現在の北朝鮮や中国への対応もしかりだ。労働者同士を殺
 し合わせ、二度と団結して帝国主義に歯向かわせないようにすることこそ、現代
 における戦争の本質だ。

労働者階級の歴史的使命は国際的団結で帝国主義を打倒し、世界革命をやり遂
 げることだ。北朝鮮キムジョンウンは「国家防衛のための核戦争」で米帝に対抗
 しようとしている。核による労働者人民の大量虐殺など絶対に許されない。

韓国・民主労総は9月4日、北朝鮮核実験を受けて声明を発表した（3面に
 掲載）。戦争危機の根源を「米国による核攻撃の威嚇を含めた敵対的な対北朝
 鮮政策」にあると弾劾し、同時にアメリカ帝国主義による北朝鮮への制裁強化
 に同調するムンジェイン大統領の姿勢をも批判している。そして「朝鮮半島
 での核対決は南北（朝鮮）のすべての民衆にとっての災厄であるばかりでなく、
 世界中のあらゆる国に広がりうる人類的な大災厄であり、絶対に許すことはで
 きない」との立場を表明している。

パククネを打倒し「積弊清算」を掲げて闘い続ける民主労総は全世界の労働
 者階級の団結の導きとなっている。労働者階級が自らの団結を確信して闘
 えば、帝国主義とスターリン主義のいかなる脅し、分断、破壊にもうちかつこと
 ができることを鮮明に示している。

安倍政権は改憲・戦争のための衆院解散・10月総選挙の絶望的策動を始めた。
 1千万人の怒りで迎え撃ち、安倍打倒を国際連帯の最大の闘いとしてやりぬこ

う。民主労総と団結し、始まる前に戦争をとめよう。

改憲阻止決戦は始まった

全学連大会の大成功をはじめ8～9月の闘いは、日帝・安倍の戦争・改憲、
労組破壊・総非正規職化攻撃と真っ向から闘い、改憲阻止決戦への総決起を切
り開いている。

何よりも動労東京八潮支部の闘い、動労神奈川・時廣慎一書記長の解雇撤
回闘争、9月末に60歳定年を迎える動労水戸・辻川慎一副委員長のエルダー雇
用をめぐる隔離・団結破壊との闘いを先頭にした動労総連合の闘いは、労働者
階級の最先端の攻防だ。JR東日本の「6・9提案」は6千万労働者への総非
正規職化攻撃の切っ先であり、労組破壊一戦争・改憲攻撃そのものだ。国鉄闘争
30年の勝利の地平に立ち、「第3の国鉄分割・民営化」攻撃を木っ端微塵（こっ
ぱみじん）に粉碎しよう。

資本・国家権力は戦争・改憲のために労働組合破壊を狙い、丸ごと民営化・
外注化、解雇・総非正規職化の大攻撃に打って出ている。

東京大学では、2013年施行の労働契約法が「有期雇用契約で5年を超え
る労働者が無期雇用への転換を求めたら応じなければならない」と定めた来年4
月を前に、「東大ルール」と称して8千人の非正規職員のうち4800人の5
年上限雇い止めを打ち出した。

来年の「無期転換」対象者は全国で450万人という。膨大な数の労働者が
全員解雇・選別再雇用で団結を破壊され、評価制度のもとでいっそう低賃金の
不安定雇用へたたき込まれようとしている。公務職場でも、現業を中心に外

ちゅうか しょくば うば かいこ しゅつこう てんせき ひせいき しょくか あらし ふ あ
注化で職場を奪い、解雇と出向・転籍—非正規職化の嵐が吹き荒れている。

はたら かたかいかく しょうたい ろうどうしゃ じごく お こうげき
「働き方改革」の正体は労働者を地獄に追いやる攻撃だ。このことに怒らない
ろうどうしゃ ろうどうしゃかいきゅう いか そうけつ き はじ どうろうそうれんごう
労働者はいない。ついに労働者階級の怒りの総決起が始まった。動労総連合を
せんとう ぜんりょく たたか かいきゅうてきろうどううんどう きよてん ぜんしょくば さんべつ けんせつ
先頭に全力で闘い、階級的労働運動の拠点を全職場・産別に建設しよう。9

どうろうそうれんごう きょうぎ かいけつせいほうこくしゅうかい じょうばんせんかいとう そし
・15 動労総連合1047協議会結成報告集会、9・23 常磐線開通阻止いわき
しゅうかい けつしゅう
集会に結集しよう。

ぜんしん かくめい そしきか
『前進』で革命の組織化を

かいきゅうてきろうどううんどう えんちょうせんじょう とう けんせつ ろうどううんどう と こ
階級的労働運動の延長線上に党は建設されない。しかし労働運動を飛び越
ほんかくてき とう けんせつ とう ろうどうくみあい いったいてきけんせつ かくめい
えて本格的な党は建設できない。党と労働組合の一体的建設にプロレタリア革命
しょうり かん かくしん とうけんせつ いしきせい ちくとう そしきか
勝利の環がある。その核心は党建設の意識性であり地区党としての組織化にあ
る。

だいいち きかんし ぜんしん いっせんまんにん むす いしきせい しょくば ちいき
第一に、機関紙『前進』を1千万人と結びつく意識性であらゆる職場・地域
がくえん も こ かいけん そしけつせん もつと きそてき たたか ぜんしん かくだい
・学園に持ち込むことだ。改憲阻止決戦の最も基礎的な闘いは『前進』の拡大
である。とりわけ青年・学生自身の新聞へ高めていこう。

だいに ちくとう ろせんとうろん とう へんかく がつとうそう
第二に、地区党を路線討論ができる党へと変革することである。8～9月闘争
きょうくん ろせんとうろん そしき
の教訓は、路線討論をとおして組織がつくられてきたことである。さまざまな
いけん ろせん じっせん ふか とうけんせつ そうかつ
意見を路線でまとめあげ、実践をとおして深めていくこと、党建設で総括するこ
とである。それは階級の指導部建設そのものである。

だいさん ちくとう かなめ けんせつ
第三に、地区党をゼネスト—ソビエトの要として建設していくことである。
ろうどうくみあい きよてんけんせつ お すす どうじ ちいき ろうどうしゃ じゅうみん かくめい む
労働組合の拠点建設を推し進めることと同時に、地域の労働者・住民を革命に向
そしき きっきん かだい さべつ つか ぶんだんこうげき げんじつ
かって組織することは喫緊（きっきん）の課題だ。差別を使った分断攻撃は現実

の闘いの中でこそ団結に転化できる。地区党建設に責任をとることが階級の指導部形成の最良の道である。

第四に、国際連帯の意識的拡大こそ、スターリン主義を粉碎し、分断を打ち破って世界革命勝利を実現する必須不可欠の闘いである。急激に加速する革命情勢に必死に食らいつき、全世界の労働者階級と結合しよう。国際連帯共同行動研究所の「月報」が発行された。全力で活用しよう。

第五に、共謀罪攻撃と闘い、弾圧を団結の拡大で粉碎しよう。8月全学連大会は警視庁公安部の襲撃策動を完膚（かんぷ）なきまでに粉碎し、一指も触れさせない完全勝利をかちとった。71年11・14渋谷暴動闘争へのデッチあげ弾圧を粉碎し、星野文昭同志・大坂正明同志の即時解放をかちとろう。「犯人蔵匿（ぞうとく）」デッチあげ弾圧と闘う鈴木哲也同志と団結して第1回公判闘争を闘おう（9月15日、大阪地裁）。共謀罪の先取り弾圧である関西合同労組春闘弾圧をめぐる第1回公判（9月21日、神戸地裁）を闘おう。11・5全国労働者集会・改憲阻止1万人大行進に進撃しよう。